

QNAP故障時復旧手順書

QTSバージョン 5.0.0.1891 (2021/12/21)

目次

ページ数

<u>①NAS本体故障での本体交換の場合</u>	...2
<u>②HDD 1本故障時でのHDD 1本交換の場合</u>	...3
<u>③HDD 2本故障時でのHDD 2本交換の場合 1</u>	...4
<u>③HDD 2本故障時でのHDD 2本交換の場合 2</u>	...5
<u>③HDD 2本故障時でのHDD 2本交換の場合 3</u>	...6

①NAS本体故障での本体交換の場合

①
新しい本体に既存のHDDをセットし本体起動します。
その後QfinderでNASを検索しアクセスします。



②
ログインします。



③
FileStation、ユーザ設定、アクセス権、HBS3の設定等が
本体交換前と同様である事を確認します。

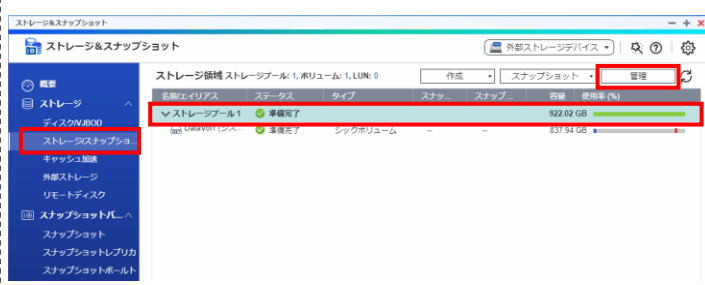
設定は以上です。

②HDD 1本故障時でのHDD 1本交換の場合

①「ストレージ&スナップショット」を起動します。



②「ストレージ/スナップショット」をクリックします。ストレージプールを選択し「管理」をクリックします。



③「管理」をクリックし、「ディスクを1台ずつ交換する」をクリックします。



④変更したいディスクを選択し「変更」をクリックします。説明が「このドライブを取り外してください。」に変更された事を確認し、NASからHDDを取り外します。



⑤数秒後、説明が「新しいドライブを挿入してください。」と表示された事を確認し、新しいHDDをセットします。



⑥RAIDグループの再構築が始まる事を確認します。



再構築の完了を確認したら設定は以上です。

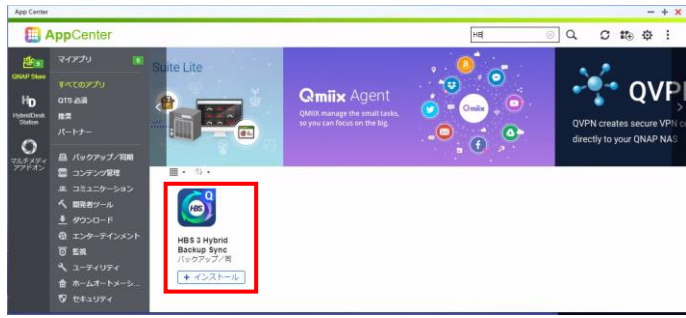
③HDD 2本故障時でのHDD 2本交換の場合 1

※HDD2本故障時はデータのみの復旧となります。設定情報は復旧できません。

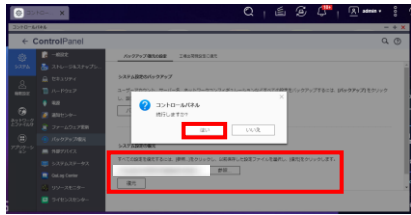
①
新しいHDDに入れ替えたQNAPNASを起動し、ログインします。
初期設定マニュアルP4,P5「ディスク領域の設定」を参考にストレージプール、ボリュームを作成します。



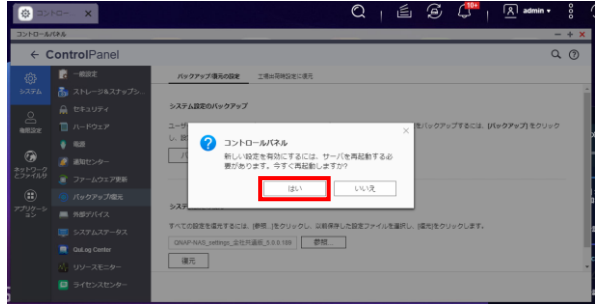
②
「AppCenter」から「HBS3」をインストールします。



③
QNAP設定バックアップファイルがない場合
初期設定マニュアルを参考にすべての設定をし、⑤へ進みます。
QNAP設定バックアップファイルがある場合
「コントロールパネル」の「システム設定の復元」から設定の復元をします。



④
QNAP設定バックアップファイルがある場合
復元が完了すると再起動を求められるため、再起動をします。



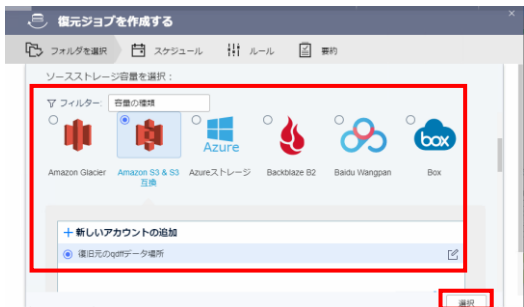
⑤
HBS3を起動し、「今すぐ復元」をクリックします。



⑥
復元したいバックアップデータのクラウド情報を設定します。



⑦
設定したクラウド情報を選択し「選択」ボタンをクリックします。



⑧
「パス」にバックアップデータを選択し、「メタデータのみ」を選択し「次へ」をクリックします。



③HDD 2本故障時でのHDD 2本交換の場合 2

※HDD2本故障時はデータのみの復旧となります。設定情報は復旧できません。

⑨
内容を確認して「復元」をクリックします。



⑩
復元ジョブが作成された事を確認して、「メタデータの取得」をクリックします。



⑪
成功した事を確認し、作成した復元ジョブの「編集」をクリックします。



⑫
「ソースの選択」をクリックします。



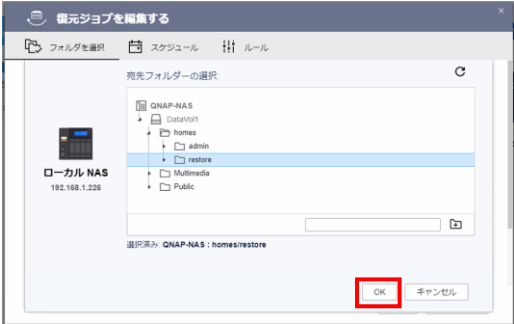
⑬
復元したい世代、フォルダを選択し「OK」をクリックします。



⑭
「宛先」をクリックします。



⑮
復元データを作成するフォルダを選択し「OK」をクリックします。



⑯
「削除したデータをスキップする」を任意でチェックし、「保存」をクリックします。



③HDD 2本故障時でのHDD 2本交換の場合 3

※HDD2本故障時はデータのみの復旧となります。設定情報は復旧できません。

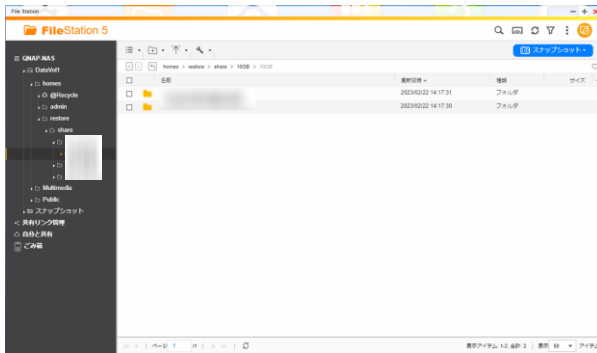
⑰
作成された事を確認し、「今すぐ復元」をクリックします。



⑱
成功する事を確認します。



⑲
ファイルが復元されている事を確認します。



復元は以上です。